

令和 8 年度 第 2 回	八 潮 市 下 水 道 事 業 審 議 会 議 事 録		
開催日時	令和 8 年 9 月 30 日 午 前 10 時 00 分 から 11 時 10 分 まで	開催場所	八 潮 メ セ ナ 集 会 室
出席者	秋山 隆、臼倉 明久、宇田川 幸夫、大沢 昌玄、小倉 峯子、北嶋 初江、後藤 涼子、田中 恵子、種家 宗利、 中嶋 義一、藤方 京子、最川 幸子		
欠席者	鈴木 孝一、晝間 正彦		
事務局	田口建設部長、武田副部長兼下水道課長、三宮副課長兼計画・工務係長、茂木管理係長、 三ツ間主任、山口主任、江澤主任、松本主事		
公開・非公開の別	公開		
傍聴者数	1人		

議 事 名			内 容
議 事 進 行 状 況	1 開会	事務局	10:00～ 定刻に開会
	2 会長あいさつ	会長	あいさつ
	3 前回の質疑応答における回答（補足）	事務局	資料に基づき説明
	質疑応答	委員	8ページの陥没事故を受けて実施した緊急点検の内容及び結果について、管の内側に新しく材料を詰めて修復すると、管の内部は狭くなるのか。それとも、管の内側を削って施工するのか。
		事務局	こちらは管更正という方法で、管の中に管を入れるという工事だが、口径としては小さくなる。当初の口径は排水需要に基づいて決まっているが、それを確認した上で、口径を小さくすることが可能だという判断のもと工事を行っている。
	4 議事		
	（１）本市の料金体系	事務局	資料に基づき説明
	質疑応答	委員	10ページに、大口需要家に大きく左右される不安定な経営体質から脱却を図るためとあるが、この大口需要家の年間の使用料はいくらか。
		事務局	税込5億2,400万円で、市の下水道使用料収入の約39%となっている。
	（２）料金水準の他団体との比較	事務局	資料に基づき説明
	質疑応答		なし

議 事 名			内 容
議 事 進 行 状 況	(3) 本市の排水需要分布 質疑応答	事務局	
			資料に基づき説明
		委員	
			大口使用者は下水のみということだが、工業用水を使っているのか。また、事務所は一般の水道を使っているのか。
		事務局	
			そのとおりである。
		会長	
			2か月排水量0㎡というのは、全く使っていないということか。
		事務局	
			水道の契約はしてるが排水をしておらず、基本料金だけを徴収している利用者などである。
		委員	
			先ほど大口の料金が全体の約39%という話があったが、料金の割合を17ページの表で示すとどのようなのか。料金を上げるにあたり、使用量が多い事業者や大口の料金を多めに上げて、個人の方は少しの値上げにするなど、そういう改定が可能なのか。
		事務局	
			表に関しては、今お示ししているものだけになる。
		事務局	
			事業者については、一般家庭よりも排水量が多いので、金額を高くしている。
			しかしながら、大口汚水の1社については、あまりにも突出した排水量となっており、ここを高くすれば収入増に直結するものの、高くしすぎると、事業者としても節水機器を導入して排水量を減らしたり、場合によっては本市から撤退するという可能性も考えられる。そうなると、大口汚水の5億2,400万円の収入が無くなることとなり、その分の負担を一般家庭に転嫁することにつながりかねず、その辺りのバランスを見極めながら改定率を決めていく必要があると考えている。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況	(4) 使用料改定率及び時期 質疑応答	副会長 確か、前々回の改定では、一般家庭の改定率を抑え、中間層を少し大きめの改定率にするという議論をしたと認識しているが、いかがか。
		事務局 これまで一般家庭の改定率を抑え、事業者の方を少し多めに上げるという形や一律に上げる形なども行ってきた。次回、料金案を提示させていただくが、一律に上げるパターンや、一般家庭を抑えて事業者を多めに上げるパターンなど、複数のパターンをお示しをさせていただきたいと考えている。
		事務局 資料に基づき説明
		委員 大口汚水の他市の料金体系がいくらになっているのか知りたい。 大口使用者との事情は先ほどお話があったが、大口使用者へ話をする際に、市民の代表の委員会として、やはり大口使用者にももう少し協力いただきたいという意見があったと伝えていただけると、交渉の材料になるかなと思う。
		事務局 大口汚水の料金設定については八潮市独自のものとなり、他市で同じように、大量に排水する事業所に個別に大口料金を設定している料金体系は確認できていない。近隣市町では、通常の一般汚水の料金表が適用されている。
		事務局 補足だが、一般家庭並みに大口料金を上げると、排水量が多いので、何千万円単位で使用料が上がることになると思われる。事業者も年度毎の予算があるかと思うので、なるべく早い段階で審議会の結果や市民の意見を説明し、予算措置をお願いしていきたいと考えている。
		会長 大口料金を値上げすることの影響等も色々と考えながら議論できればと思う。
		他市では大口料金を設定していないということだが、例えば巨大な排水量の事業者がいる市町村ではどういう料金体系になっているのか、分かるのであればお示しいただきたい。

	議 事 名	内 容
議 事 進 行 状 況		委員
		料金を決めるにあたり、これからの設備投資や経常的なランニングコスト、それから今までの設備投資に係る債務についてどう考慮していくか、非常に興味がある。大口事業者の経営についても、例えばそこにどれだけの設備投資がされているのかということも含めて、そういったものも比較してご検討いただければありがたい。
		会長
		改定率を出す上では、今後いくら維持管理費がかかるか、どういった整備をしなければならないのかといったことのほか、債務についても考えなければならない。
		また、いつ何が起こるか分からない中、独立採算制を前提とするならば、ある程度現金をしっかりと持っていないと対応ができない。これくらいの支出があるからこれくらいの収入を確保しないといけない、ということを考える必要がある。どうしても必要な時にはある程度の繰入金も考えざるを得ないかもしれないが、収入支出のバランスを考えることが大事になってくる。
		委員
		やはり単年度だけで経営を考えていくことは難しいので、料金算定の基礎となる経費としてどのようなものがあるのか、5年や10年での収支の表があると分かりやすいのかなと思う。
		委員
		昨年、昨年の陥没事故以降、マンホールの修繕が結構行われていた。マンホールの破損を見つけた場合、市民に報告してもらうなど、市民の協力が必要だと思うが、そういう場合のPRについてはどうしているか。
		事務局
		道路上でマンホールなどの下水道施設が破損したりしている場合の通報に関しては、下水道課にご一報いただければ、確認した上で適切に修繕等をしていきたいと考えている。ピンポイントでマンホールの破損の場合についてのPRは特にしていないが、下水道施設の維持管理について、啓発に努めていきたい。
		委員
		昨年、食生活改善推進委員で戸田市の荒川水循環センターへ見学に行き、健康まつりで表にして展示していたが、そういったものを活用していただければいいかなと思う。やはり直接見ると下水道の重要性が確認できると思うので。

議 事 名			内 容
議 事 進 行 状 況		委員	料金には直接関係ないかもしれないが、最近雨が多く、八潮市は土地が低いから道路が冠水してしまうとか、家によっては雨が降る度に床下まで浸水してしまうとよく聞く。一般的にそのようなものにはどのように対処しているのか、他市の改善の事例などあれば教えていただきたい。
		事務局	
			八潮市を含めた埼玉県の一部は低平地で、お皿のような地形になっているため水が溜まってしまい、自然流下で川に水が流れにくいという特徴がある。
			そのため、この辺りの自治体は河川のところに排水ポンプを設置し、溜まった水を河川に排出するということをしているが、どうしても排水量には決まりがあるため、排水能力以上の雨が降った場合は、市街地に水がたまる内水氾濫が起こってしまう。
			各自治体では今、この内水の排除が非常に問題となっており、今までは国も指導が厳しかったが、都市化の進展に伴い、最近では自治体と一緒に排水対策を行っていかうと雰囲気が変わってきている。
			実際に今、八潮市を含めた近隣の6市1町と国県で、緊急流域治水プロジェクトというものを立ち上げていて、国県市町が連携して大雨に対応していかうという取り組みをしている。
		会長	今回の審議会で議論していただいているのは、主に汚水についてだが、下水道にはもうひとつ雨水を処理するという重要な役割もあり、それは公費で行っていると思う。下水道にはそういった役割があるということも、先ほど委員から意見があったように、アピールしていくことが大切になってくる。
		会長	前回と今回で、八潮市の下水道事業の実態をお話いただいた。今後の改定時期および改定率については、次の審議会で出てくると思う。
			それに際して、大口事業者の利用の状況や、中長期的な収支の見通しなどを踏まえて改定率を考えてほしいというお話をいただいたので、そういったご意見を踏まえながら、改定率のパターンを出していただければと思う。我々としても、負担を増やしてほしくないという意見は当然あるが、下水道事業を維持していくには何が必要なのかというものを判断した上で、ある程度の改定の幅を、今後議論していくことになるかと思う。

	議 事 名		内 容
議 事 進 行 状 況	5 その他	会長	全体として何か質問はあるか。
		副会長	全国的に、排水量は下がっていく一方で、物価高騰によりコストは増えていくため、料金改定が必要となる、 というところをしっかりと示さないといけないと思う。
		事務局	なるべくわかりやすく工夫しながら、資料をお示しできるようにしたい。
		会長	既存の下水道ビジョンなどで示している収支予定やグラフなどを活用してもらえればと思う。今後、下水道ビ ジョンの改定予定はあるのか。
		事務局	経営戦略というものを策定しており、そこには今後の排水予測や維持管理費、建設費、起債等の計画を載せて いる。こちらは5年ごとに中間見直しを行っている。
		会長	ぜひそういったものをお示しいただきながら料金改定率をお出しいただければと思う。
		事務局	今回の振り返りと次回予告
		事務局	
	6 閉会	事務局	11:10